



出張報告書

令和6年 9月20日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 日本維新の会

代表者氏名 松岡洋司

出張者氏名 長崎み 寺井大地

辻 信行 松岡洋司

安原保一 別府建一

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和6年8月21日から令和6年8月23日まで

2 結果の概要

用務先 ・岐阜市役所 ・品川区役所 ・株式会社サンリオ ・東立石地区センター	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1 自動運転バス運行事業 (GIFU HEART BUS) について 2 キャラクターを活用した取組事例の効果について 3 自治体とのパートナーシップ活動を通じた地域貢献活動について 4 密集住宅市街地促進事業について
添付書類 ☒ 出張調査報告書 ☐ ☐ ☐	備 考

3 届出事項の変更等 ☒ なし ☐ あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

☒ 精算額は、令和6年7月12日届け出た額 (374,400円) と同一額である。

☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

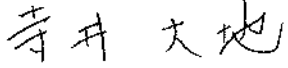
月	日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

出張報告書

【日時】2024年8月21日（水）

【視察先】岐阜県岐阜市建設部

【テーマ】岐阜市のまちづくりについて、自動運転技術の導入に向けた取り組みについて

【報告者】

【報告】

尼崎市においても少子高齢化や核家族化が進むなか、誰一人取り残さず、街を活性化させていくためには地域公共交通の存在は非常に重要です。本市は、東西交通は JR・阪神・阪急がある一方で、各路線から離れた地域や、南北の交通は非常に不便な状況となっています。そのため、バスが重要な役目を果たしていますが、バスの運転手不足や物価高騰等様々な影響から、不採算路線の廃便や、路線変更などが行われており、市民サービスの低下にも繋がる喫緊の課題となっています。

岐阜市の取り組みは、そういった課題に対して先進的な取組を通じてより良いまちづくりに繋げていくためのもので、尼崎市だけでなく日本におけるファーストペンギン的な役割を持った取組のため、視察を通じて学びを得てこれからの尼崎市、日本に還元できる知識を得る目的のため訪問をさせていただきました。

岐阜市では、中心市街地の観光地を周遊する自動運転バスを 5 年継続して運行し、段階的にインフラ整備を進めるとともに、社会需要性の向上を図りながら、レベル4での自動運転の実装を目指されており、BOLDRY(株)、岐阜乗合自動車(株)・(株)日本タクシー、岐阜市の運行体制で取り組まれています。バス単体で自動運転を実現するのではなく、例えば信号機にセンサーを取り付け、バスと連携することで、完全自動右折などを実現しています。1箇所だったバス停は現在では9箇所にもなり、電話・LINEでの予約でバスに乗ることができます。バスのデザインは水戸岡鋭治氏が手がけており、赤の特徴的なデザインになっていました。

昨年 11 月に実証実験がスタートしてから、今までに約 36,000 人の利用があり、その 4 割は海外や岐阜市外の方の利用とのことで、世界中から注目される自動運転バスの事例となっています。

路側帯に路上駐車されていたらオペレーターの操作が必要であったり、時速は 19km/時となっており、1車線一方通行の道を走行する際には若干渋滞気味にもなっておりましたが、いずれにしても地域住民に理解してもらえるよう細やかな情報共有と、メディアによる報道などを通じて地域に協力していただきながら進められており、国・県・地域の協力のもと成り立っている自動運転バスの先進事例を学ばせていただくことができました。

出張報告書

尼崎市においても、阪神沿線のまちづくりでの周遊ルートや 21 世紀の森へのアクセスなどを考えた際に自動運転バスは非常に明るい可能性があると考え、国庫補助金がなければ実現できないコスト高の事業になる。そのため、尼崎市が強い想いを持って県や国と協議を進めていく必要があるため、引き続き自動運転をはじめとした公共交通を学び、本市の利便性の更なる向上のため尽力していく。

自動運転バスが
いつも走っているまち
岐阜市

5年間

岐阜の中心市街地で自動運転バスが運行



**GIFU
HEART BUS®**

2023.11.25^{SAT} → 2028.3.31^{FRI}

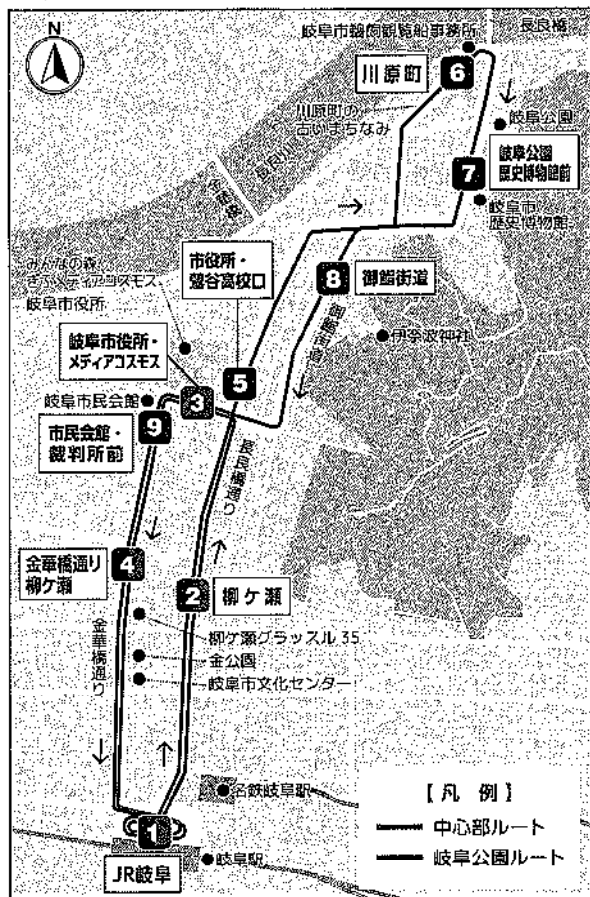
GIFU CITY



GIFU HEART BUS.

2023年から2028年までの5年間、自動運転バスが、岐阜駅から市役所までの中心部ルートと、岐阜駅から川原町や岐阜公園などの観光地を周遊する岐阜公園ルートを運行します。

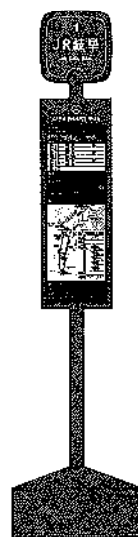
運行ルート



時刻表

中心部ルート(平日・土日祝運行)													
バス停	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	
1 JR岐阜	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	
2 柳ヶ瀬	10:09	10:39	11:09	11:39	12:09	12:39	13:09	13:39	14:09	14:39	15:09	15:39	
3 岐阜市役所・メディアコスモス	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20	12:50	13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50	
4 金華橋通り柳ヶ瀬	10:32	11:02	11:32	12:02	12:32	13:02	13:32	14:02	14:32	15:02	15:32	16:02	
5 JR岐阜	10:40	11:10	11:40	12:10	12:40	13:10	13:40	14:10	14:40	15:10	15:40	16:10	

岐阜公園ルート(土日祝運行)				
バス停	1便	2便	3便	
1 JR岐阜	10:15	12:15	14:15	
2 柳ヶ瀬	10:24	12:24	14:24	
3 市役所・鷺谷高校口	10:31	12:31	14:31	
4 川原町	10:44	12:44	14:44	
5 岐阜公園歴史博物館前	10:50	12:50	14:50	
6 御膳街道	10:57	12:57	14:57	
7 市民会館・裁判所前	11:07	13:07	15:07	
8 金華橋通り柳ヶ瀬	11:14	13:14	15:14	
9 JR岐阜	11:22	13:22	15:22	



乗車方法・乗車予約について

希望日の30日前から電話またはLINE予約システムにて予約できます。 原則予約制 運賃無料

※空席がある場合は、予約なしでもご乗車いただけます。



電話による乗車予約

自動運転バス予約受付(午前9時~午後5時受付)

070-3390-0055



予約システムによる乗車予約

スマートフォンからQRコードをスキャンして予約
(24時間受付)

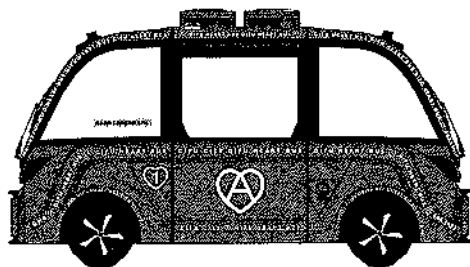


■ 車両デザインについて

GIFU HEART BUSの外観や内装、バス停、ロゴは、連節バス「清流ライナー」をはじめ、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」など、公共交通のデザインに数多く携わる水戸岡鋭治氏によってデザインされています。

■ デザイナー 水戸岡鋭治 ■

- 1947年 岡山市生まれ
- 1972年 ドーンデザイン研究所設立
- 2011年 「菊地寛賞」受賞
- 2013年 ななつ星 in 九州(JR九州)をデザイン
(日本鉄道賞特別賞受賞)
- 2016年 清流ライナー(岐阜乗合自動車)をデザイン
- 2019年 IKEBUS(豊島区)をデザイン



視察報告書

日時： 2024 年 8 月 22 日（木） 10 時～12 時

場所：品川区役所（座学＋品川観光局）

報告者： 長 崎 く み

調査事項：キャラクターを活用した取組事例の効果について

・品川区は「しながわ観光大使」として（株）サンリオのシナモロール
（通称 シナモン）を活用

<しながわ観光大使 任命まで>

2007 年：区の初の観光大使「キャッツ」（五反田にキャッツシアターがあった事がきっかけ）

2013 年：シナモロールを「しながわみやげ応援キャラクター」として任命

2014 年：新キャラクター「品川紋次郎」制作

2016 年：区議会にてシティプロモーションの手法として PR 大使起用の提案あり

2017 年：品川区の観光大使に「シナモロール」を任命

<株 サンリオとの契約>

・基本協定と個別協定を結ぶ。

＜活用事例＞

- ・イラストの使用（全庁的に品川区や観光協会の PR 媒体で使用）
投票済証、ミニ区役所概要版、保育園案内、オリジナル婚姻届け
出生届、出生記念証、イベント PR チラシ 庁有車のラッピング
等々
- ・ノベルティ
ボールペン、タオル、缶バッチ、付箋 お土産用のショッパー 等々
- ・施設、ハード
壁のデザイン（授乳室や品川観光協会）デザインマンホール
観光案内所併設カフェ 等々
- ・着ぐるみ出演
区や地域のイベント（まつりや成人式など）に賑やかしで出演
- ・民間への広がり
アワーズイン阪急（ホテル）シナモロールルーム

＜効果＞

- ・シナモンを活用して約 20 年になり、庁舎内での活用範囲も徐々に広がってきた。区民は子どもの時から、市の案内物やイベントで目にしていたシナモンを大人になって再び目にするようになり、若い世代や子育て世代へのアウトリーチ活動としての効果がみられる。

婚姻届や出生届は好評、庁内の 2 階にフォトパネルが設置されており、庁内を訪れた方や婚姻届けを提出した夫婦などが撮影している。

- ・庁舎内の一部の壁紙に使用しており、入りやすい雰囲気になっている。
- ・マンホールカード入手のため、1 日数十人が観光局を訪れる。

（私たちが視察した当日も親子がマンホールカードをもらいに来ていました）

- ・観光協会の SNS はフォロワー数、約 1.3 万人、HP 閲覧数は毎月 20 万人以上。区内の飲食店、観光名所、土産物などを掲載。

シナモンを活用した品川お出かけ情報の発信は、若い世代に向けた情報の提供を行っている。

＜品川区のキャラクター はたちの龍馬＞

シナモンは全国的に有名なキャラクターであり、イベント集客の効果は高い。一方、品川区のキャラクター「はたちの龍馬」は区のキャラクターであり、観光大使見習いと言う肩書で、区民へ浸透してきた。

【所感】

シティプロモーションの手法として、有名キャラクターを活用した先進事例を視察した。

庁内に一步入ると、授乳室があり、シナモンの壁紙で迎えてくれている。

役所での子どもを連れての手続きは待ち時間、手続き時間と多くの時間を要するが、気軽に入室できる雰囲気は、親子連れにとってホッとする場所になっている。

シナモンが観光大使として任命されたころは、今のようにサンリオのトップキャラクターではなかったようだ。20 年という歳月をかけて、区民もシナモンも共に成長しているような思いを感じた。

自殺予防のチラシなどは、あまり手に取ってもらいづらかったが、シナモンがいることで、そうしたチラシも手に取ってもらえるようになったとの事。

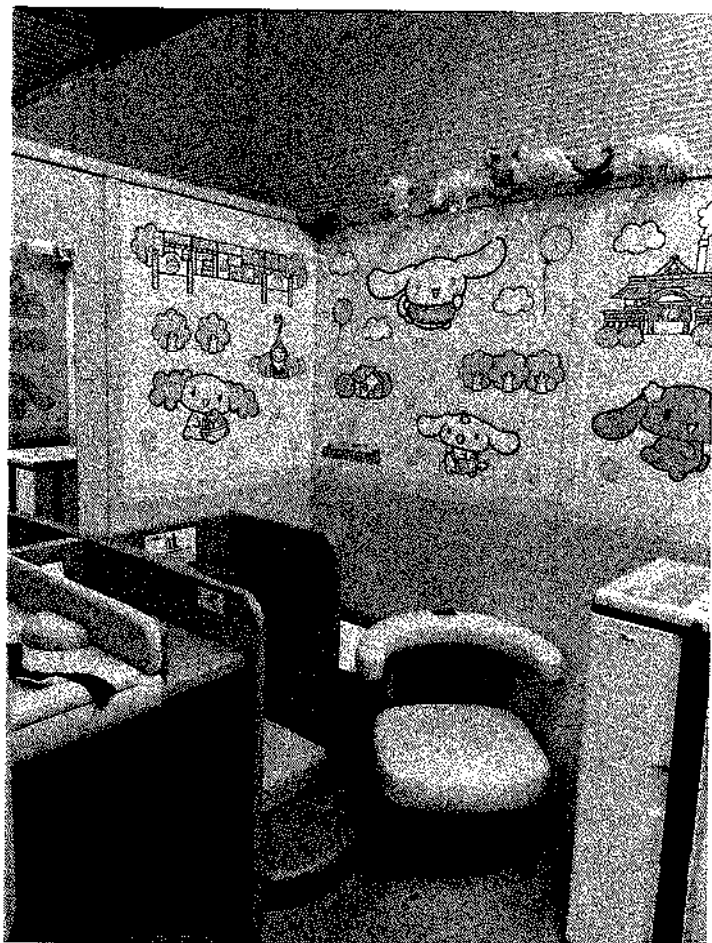
届けたい情報を届けたい市民に届く仕組みづくりとしても、品川区のキャラクターを活用した事例は参考となる。

キャラクターの姿を見ると、ホッとしたり思わずにっこりしたくなる。

その街に住み、住み続けていきたい思いを醸成するには、効果的であると感じた。



◀ 品川区役所ベビールーム



◀ 品川区役所ベビールーム内部

▼ 出生届プレゼントの広報



視察報告書

日時： 2024 年 8 月 22 日（木） 16 時～17 時

場所： 株式会社 サンリオ本社（東京都 品川区）

報告者： 長 崎 く み

調査事項：自治体とのパートナーシップ活動を通じた地域貢献活動
について

（１）＜会派概要＞

商号：株式会社 サンリオ

設立：1960 年 8 月 10 日

売上高（連結）99,981 百万円（2024 年 3 月期）

692 名（嘱託・アルバイト等を除く 2024 年 3 月 31 日現在）

＜事業内容＞

ソーシャル・コミュニケーション・ギフト商品の企画・販売

著作権の許諾

テーマパーク事業 など

＜企業理念＞

みんななかよく

（２）各自治体との取組事例

＜自治体ブランド関連の課題解決＞

・認知拡大：キャラクターの知名度を活用し、自治体の認知を引き

上げる

- ・価値向上：キャラクターを起用することで、自治体の価値を高める

事例

- ・住民サービス（婚姻届け、出生届、母子手帳、子育てハンドブック、防災アプリ）

- ・選挙済証

- ・啓蒙啓発（熱中症予防、自殺防止、悪質な消費者契約注意）

- ・オリジナルソング（小松市）

- ・就任式：（石川県能美市）

自治体の応援大使にキャラクター（シナモロール）を任命し、市内の総合会館で任命式とキャラクターのライブショーを行い、無料で市民を招待。式典前後にフォトスポットで楽しむ。

スタッフとして市民ボランティアも参加。

- ・プレミアム商品券

<集客関連の課題解決>

- ・集客力強化：キャラクターを活用して観光客接点を作る

- ・困り込み・継続か：住民限定グッズや優待を提供して満足度を高める

事例

・施設装飾

（山口県 秋芳洞）シナモロールで装飾入り口やエレベーターを装飾し明るく楽しい雰囲気になっている。

（石川県 小松市）小松駅に隣接する待合所をポムポムプリンで装飾。駅やバスの待合時間や休憩スポットとして人気。

（東京都 品川区）区役所内階段・授乳室をシナモロールで装飾。品川観光協会は入り口の全面ガラスにシナモロール。

・PR 動画作成

（東京都 品川区）キャラクターの魅力と地域の特性を融合。手話を身近に感じる動画も作成

（山梨県）ライブキャラクターを起用し、字幕は英語でつけるなどインバウンドにも対応した動画

・サンリオピューロランド活用

（石川県 小松市）

小松市の PR を東京都多摩市にあるサンリオピューロランドでイベントを実施。

（当日入場者：6150 名、シアター入場者：190 名、30 分前に満席）

多くのサンリオファンに小松市を PR することに成功。

＜サンリオキャラクターの特徴＞

- ・サンリオキャラクターを知らない方はほとんどいない。
- ・日本人らしく、嫌われないキャラクターであり、安定キャラクターと言われる。
- ・瞬発性のキャラクターとの違いは、アニメのキャラクターはそのアニメが人気があるときは伸びる。

サンリオは突発性の瞬発力はないが、20 年後 30 年後も安定してずっと人気でいられる力がある。そこが強みであり、提案できるところ。

【所感】

サンリオ本社を一步入ると、ハローキティで装飾された受付。

いくつかの商談ブースやルームには多くの方が商談をなさっていて、活気あふれる企業の日常を拝見した。

説明を受ける商談ルームは、キャラクターのクロミで壁面装飾がなされており、その部屋に入っただけで、気持ちが明るくなる。

サンリオの創業からの貴重な資料が展示されているレセプションルームを視察させていただき、国内だけではなく海外での事業展開の様子も拝見。サンリオキャラクターのほとんどは、口が無いが、あっても点で表現されており、日本人は昔から、口を隠す、表情を隠す文化があり、口は重要と考える。口を小さくすることで、人の今の気持ちに合わすことが出来る。

キャラクターを見たときに自分が悲しかったら、同じような気持ちで泣いているように見える。自分がうれしいときには、笑っているように見える。

という担当者の方の言葉を聞き、そのようなキャラクターが市内にいたら住民の生活に少しのホッとした気持ちを呼び起こすのではないかと考えた。多くの自治体の課題解決と一緒に考えてきたサンリオ社の中には、今後のまちづくりのヒントがたくさんあると感じた。

市が住民の為にいろいろと行っている施策や優しさは、なかなか市民には見えにくい。

しかし、品川区や小松市の取組は、街から優しくされていることが住民に伝わっている感じがする。伝わるからその街を好きになる。

普段は当たり前だと感じているところをちょっと意識してもらう事はこれからのまちづくりに必要だと思う。最後はまた、この街に戻ってきたい、そのような街づくりのため、みんなが良く知っているキャラクターを使う価値を感じた。

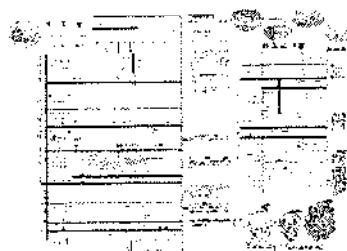
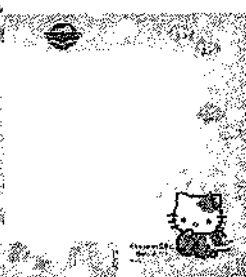
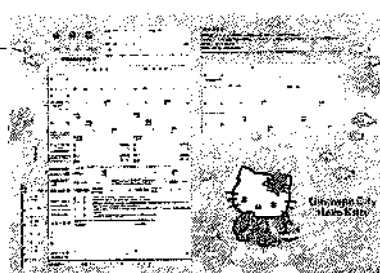
資料提供：株式会社サンリオ アジア事業本部第一部

自治体ブランド

住民サービス

「住みたくなる」仕組みづくり

広報紙・出生届・婚姻届、防災アプリケーションなど生活に密接なシーンでの活用。
キャラクターによって住民サービスに親しみを持っていただくことが可能です。



資料提供：株式会社サンリオ アジア事業本部第一部



会派視察報告書

【日時】令和6年8月22日

【視察先】東京都葛飾区

【報告者】別府 建一

【視察内容】密集事業について

1. 上位・関連計画の位置づけ

(1)東京都 防災都市づくり推進計画

平成7年1月の阪神淡路大震災の教訓を踏まえ策定された。

・都内28の「整備地域」を指定(6, 500ha)

地域危険度が高い、特に老朽化した木造建築物が集積

・都内52の「重点整備地域」を指定(3, 350ha)

特に改善を必要としている地区、「不燃化特区」の区域、不燃化を強力に推進

(2)東京都木密地域不燃化10年プロジェクト

・目的

平成23年3月の東日本大震災や切迫する首都直下地震を踏まえ、平成24年1月に策定された「東京都木密地域不燃化10年プロジェクト」は、都民の生命と首都東京の機能を守るため区と連携して木密地域の改善を一段と加速させること

・目標

特に甚大な被害が想定される「整備地域」を対象に、10年間の重点的・集中的な取組を実施し、木密地域を「燃え広がらない・燃えない」まちにする。整備地域における不燃領域率を2020年度までに70%に引き上げること。

特に改善を必要としている地区を「不燃化特区」に指定し、防災都市づくりに資する事業を重層的かつ集中的に実施。

2. 防災まちづくり

葛飾区においては、木造住宅密集地域が比較的広く分布しており、その中でも地震に関する地域危険度が高く、老朽化した木造建築物が特に集積し、震災時に甚大な被害が想定される地域として、4地区について、特に重点的に防災まちづくりを進めてきた。

車両のすれ違いが困難な道路、見通しの悪い交差点、緊急車両も通行しにくい道路、老朽建築物が密集する道路などを集中的に整備していく。また、「防災街区整備地区計画」「密集住宅街整備促進事業」「不燃化特区」の3つの制度を活用し災害に強い街づくりに取り組んでいる。

3.「防災街区整備地区計画」

〈ルール1〉耐火または準耐火建築物とする。

〈ルール2〉地区にふさわしくない用途の建物を制限する。

〈ルール3〉建築物の敷地面積の最低限度を66㎡とする。

〈ルール4〉道路等に面して設ける塀又は柵は、生垣、フェンス等とする。ブロック造の部分の高さは60cm以下とする。

〈ルール5〉建築物の屋根、外壁等は落ち着いた色彩にする。

など8つのルールを用いて整備している。

4.「密集住宅街整備促進事業」

「道路づくり」

安全な避難路となったり、消化・救助活動等が行える主要生活道路を整備

「公園・広場づくり」

火災の延焼拡大を防ぐ空地、震災時の防災活動拠点として公園や広場を整備

「沿道の老朽建築物の除却」

公園・道路整備に必要な用地を区が買収したり建物等の移転が必要な場合、用地買収費や建物移転費等を補償なども行っている。

5. 不燃化特化制度

首都直下地震の切迫性や東日本大震災の発生を踏まえ、東京の最大の弱点である、木造住宅密集地域の改善を一段と加速するため、整備地域の中で、特に重点的・集中的に改善を図るべき地区を指定し、都と区が連携して不燃化を強力に推進する制度。

〈支援1〉木造住宅の建替え費用を助成

除却工事費と設計・工事監理費を合算して最大200万円さらに令和5年度からは新築建物の規模に応じて建築工事費の一部を助成

不燃化特区指定以降、4地区で192件の建替えを支援(令和5年度末現在)

〈支援2〉老朽建築物の取壊し(除却)費用を助成

取壊し工事費用を最大200万円

不燃化特区指定以降、4地区で279件の取壊しを支援(令和5年度末現在)

〈支援3〉専門家を無料で派遣

弁護士や一級建築士を無料で派遣

〈支援4〉固定資産税・都市計画税の減免

(1)老朽木造建築物を取壊して更地にした場合、最長5年間、住宅の敷地並みの税額に減税

(2)不燃化のための建替えを行った場合、新築した家屋に対して最長5年間10割の減免

6. 整備地域不燃化加速事業

令和6年度より開始した新規事業。

重点整備地域156ha で実施している不燃化建替え助成を整備地域全体の約449ha に拡大し、地域の不燃化を一層加速させる取り組み。

〈支援〉

耐用年数の3分の2以上経過した木造の除去工事を行い、耐火または準耐火建築物等に建替える工事を行うもの。

除去工事費と設計・工事管理費を合算して最大200万円の助成額が出る。

【所感】

行政から中長期的にまた、積極的に働きかけないと中々改善していかない事業である。

協力したくても物理的に建物や駐車場の関係で出来ない所有者や逆に値上がりを期待して交渉に応じない所有者は、中々解決しない。

東京都が積極的に葛飾区と木造密集地域を

無くす施策を次々と打ってきている。尼崎市とは、財政規模が違い、東京都や葛飾区のように手厚く補償に当てられる費用が無い。